

日本人間工学会東海支部2013年研究大会プログラム

主催：日本人間工学会東海支部

期日：2013年11月2日(土)9:30~17:50

大会長：富田明美（椋山女学園大学）

会場：椋山女学園大学生生活科学部棟

■A会場（B110）

1A. 9:30~10:30 座長：山根基（愛知みずほ大学大学院）

1A1 看護系大学における電子カルテの教育について
○斎藤真（三重県立看護大学）、中村達哉（㈱ミエデンシステムソリューション）、深田拓生（㈱ミエデンシステムソリューション）、坂直樹（㈱ミエデンシステムソリューション）、近藤佐紀（㈱ミエデンシステムソリューション）、村本淳子（三重県立看護大学）、長谷川智之（三重県立看護大学）

1A2 タブレット端末の角度における視認評価実験
○石井佑樹（名古屋大学・学生）、崔人月（名古屋大学・学生）、小飯塚達也（名古屋大学大学院・院生）、宮尾克（名古屋大学）

1A3 年齢別のモバイル端末における視認評価
○崔人月（名古屋大学・学生）、石井佑樹（名古屋大学・学生）、小飯塚達也（名古屋大学大学院・院生）、宮尾克（名古屋大学）

1A4 タブレット端末を用いたデュアルディスプレイ型VDTにおける作業特性
○野代悠介（名古屋工業大学・学生）、神田幸治（名古屋工業大学）

2A. 14:10~15:10 座長：山田泰行（名古屋市立大学大学院）

2A1 フロントライト付き電子書籍リーダーの可読性評価—国際標準化（ISO）に向けて—
○本多悠真（名古屋大学大学院・院生）、小嶋健仁（名古屋大学大学院・院生）、小飯塚達也（名古屋大学大学院・院生）、石尾暢宏（名古屋大学大学院・共同研究員）、R. Paul Lege（名古屋大学大学院・院生）、宮尾克（名古屋大学）

2A2 待ち行列を仮定した視覚的手がかりの瞬間認知特性
○山本あゆ美（広島市立大学大学院・院生）、高橋雄三（広島市立大学大学院）

2A3 脳波と眼電図の複合波形を用いた機器操作の検討
○村井理奈（名古屋市立大学大学院・院生）、横山清子（名古屋市立大学大学院）

2A4 立体映像注視時の調節機能の比較
○池田拓矢（名古屋大学・学生）、岡田悠希（名古屋大学大学院・院生）、宮尾克（名古屋大学）

3A. 15:20~16:20 座長：松河剛司（愛知工業大学）

3A1 芳香物質が肉体的ストレスに及ぼす影響の心電図測定による評価
○寺沢拓馬（東京農工大学大学院・院生）、佐藤桂（東京農工大学）、永井正夫（東京農工大学）

3A2 医療現場における心肺蘇生の特性の検証
○神谷菜月（三重県立看護大学・学生）、下村菜里

奈（三重県立看護大学・学生）、長谷川智之（三重県立看護大学）、斎藤真（三重県立看護大学）

3A3 胸骨圧迫時の術者の下肢固定の重要性の検証
○下村菜里奈（三重県立看護大学・学生）、神谷菜月（三重県立看護大学・学生）、長谷川智之（三重県立看護大学）、斎藤真（三重県立看護大学）

3A4 Lorenz Plotを用いた心房細動検出アルゴリズムの開発
○吉田豊（名古屋市立大学大学院）、早野順一郎（名古屋市立大学大学院）

4A. 16:30~17:30 座長：矢野円郁（神戸学院大学）

4A1 衣服のデザイン要素が人体に及ぼす生理・心理的影響
○鷺崎ハイジ（椋山女学園大学大学院・院生）、富田明美（椋山女学園大学）

4A2 音刺激が緩徐な環境温低下に対する寒がり自覚者の自覚的溫度感覚に及ぼす影響

○山口織恵（三重県立看護大学・学生）、大下沙紀（三重県立看護大学・学生）、大西範和（三重県立看護大学）

4A3 音刺激が緩徐な環境温低下に対する寒がり自覚者の皮膚血管調節に及ぼす影響

○大下沙紀（三重県立看護大学・学生）、山口織恵（三重県立看護大学・学生）、大西範和（三重県立看護大学）

4A4 幼児の身体寸法と発話内容との関係—指示代名詞を使った領域形成による検討—

○早川亜希（椋山女学園大学）、橋本雅好（椋山女学園大学）

■B会場（B107）

1B. 9:30~10:30 座長：大森正子（神戸女子大学）

1B1 セル生産における習熟過程の生体負担に関する研究
○野村佳大（名城大学大学院・院生）、福田康明（名城大学）

1B2 テレワークに従事する労働者のメンタルヘルス
○山田泰行（名古屋市立大学大学院医学研究科）、榎原毅（名古屋市立大学大学院医学研究科）

1B3 月経周期がメンタルワークロードにおよぼす影響
○長谷川祥子（三重県立看護大学・学生）、前田美由希（三重県立看護大学・学生）、長谷川智之（三重県立看護大学）、村本淳子（三重県立看護大学）、斎藤真（三重県立看護大学）

1B4 月経周期が疲労感におよぼす影響
○前田美由希（三重県立看護大学・学生）、長谷川祥子（三重県立看護大学・学生）、長谷川智之（三重県立看護大学）、村本淳子（三重県立看護大学）、斎藤真（三重県立看護大学）

2B. 14:10~15:10 座長：長谷川智之（三重県立看護大学）

2B1 介護リフトによる昇降動作における被介護者の心理

的負担評価

○辻裕介(三重大学大学院・院生), 池浦良淳(三重大学大学院), 早川聡一郎(三重大学大学院), 渡部正太郎(三重大学大学院・院生), 境田右軌(理研RTC), 横山清子(名古屋市立大学)

2B2 セル生産における習熟過程に関する研究

○新郷正浩(名城大学大学院・院生), 福田康明(名城大学), 山田裕昭(山田コンサルティング事務所)

2B3 20世紀初頭におけるフランスファッションのウエストゆとり量の変容—ジャケットを中心に—

○滝澤愛(椋山女学園大学), 大塚美智子(日本女子大学)

2B4 衛生用マスクの改善点の検討—2012年度の調査結果—

○藤山滝丸(信州大学・学生), 清水勇希(信州大学・学生), 森島美佳(信州大学)

3B. 15:20~16:20 座長:森島美佳(信州大学)

3B1 点字の触読性向上を目指した触読支援具の作成

○土井幸輝(国立特別支援教育総合研究所), 西村崇宏(早稲田大学大学院・院生), 藤本浩志(早稲田大学)

3B2 ハンドドライヤー使用時の乾きの向上に関する研究—一手の挿入口の幅拡大による検証・対策検討—

○笹川佳蓮(新潟国際情報大学・学生), 上西園武良(新潟国際情報大学)

3B3 キーボードの誤タイピング低減に関する研究(第2報)—誤タイピング低減のための実験と課題・対策検討—

○藤井勇次(新潟国際情報大学・学生), 上西園武良(新潟国際情報大学)

3B4 ユニバーサルデザインのための把持特徴量の抽出とクラスタ分析に関する一検討

○笹野祐嗣(三重大学大学院・院生), 高橋和良(株)バンザイ・ファクトリー), 川中普晴(三重大学大学院), 山本皓二(鈴鹿医療科学大学), 高瀬治彦(三重大学大学院), 鶴岡信治(三重大学大学院)

4B. 16:30~17:30 座長:高原美和(愛知淑徳大学)

4B1 運転姿勢変化に着目した運転疲労の増加抑制手法

○後藤翔平(三重大学大学院), 津田修平(三重大学大学院), 池浦良淳(三重大学大学院), 早川聡一郎(三重大学大学院), 早川知範(東海ゴム工業(株))

4B2 姿勢変化による重心動揺検査への影響

○吉川一輝(名古屋大学大学院・院生), 木下史也(福井大学大学院・院生), 福井優太(福井大学大学院・院生), 高田宗樹(福井大学大学院), 宮尾克(名古屋大学大学院)

4B3 労作中の頭部前方偏移の定量的解析と後頸部所見との関連

○高橋秀平(名古屋大学大学院・院生), 塚田月美(パナソニックエコソリューションズ電路(株)), 小倉広康(パナソニックエコソリューションズ電路(株)), 内山靖(名古屋大学大学院)

4B4 組立作業における筋負担の評価

○市川千将(名城大学大学院・院生), 勝野喬雄(名城大学大学院・院生), 福田康明(名城大学), 斎藤真(三重県立看護大学)

10:40~12:00 若手人材支援企画(B110)

「一架け橋企画もセカンドステージへ—“キャリアデザ

インいつやるの? 今でしょ!”」

13:00~14:00 特別講演(B110)

「テレビ・メディアと報道—東日本大震災・映像ドキュメント」

梶窪優二氏(椋山女学園大学文化情報学部教授)

17:35~17:50 高田賞授与式(B110)

18:00~ 懇親会 椋山女学園大学内 食堂 F19

<参加者の皆様へ>

1) 受付

大会当日午前9:00より(生活科学部棟入口)

2) 参加費

「事前参加申し込み」済みの方

日本人間工学会会員2,500円, 一般3,000円, 学生(学部・大学院生)1,000円(学生証提示)

「当日参加」の方

日本人間工学会会員3,000円, 一般3,500円, 学生(学部・大学院生)1,500円(学生証提示)

論文集のみ 1,500円

懇親会費 4,000円

※参加費・懇親会費は当日受付でお支払いください。

3) 会場案内

会場へお越しの際は、必ず公共交通機関をご利用ください。

駐車場はご利用できません。また、当日食堂は利用できません。近隣の食堂・レストランマップは当日用意します。

<発表者の方へ>

1) 発表時間

発表時間は、発表12分間、質疑応答3分間の計15分です。時間厳守にてお願い致します。

2) メディア受付とビジュアルエイド

発表用ファイルをCD-ROMまたはUSBメモリーに保存し、当日セッションの始まる30分前までに「メディア受付」までお持ち下さい。ビジュアルエイドは液晶プロジェクタのみ使用可能です。Windowsパソコンおよび**PowerPoint 2010**を会場に用意致します。Macintosh PCにて作成された原稿はWindows環境下では改行位置のずれなどが生じる可能性があります。**必ずWindows環境下にて確認・保存したファイルをご持参下さい。**

<座長の方へ>

座長の皆様はご担当のセッションの15分前までに受付にお越し下さい。

【お問い合わせ】

椋山女学園大学生生活科学部 富田明美

〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17-3

E-mail: tomita@sugiyama-u.ac.jp

【日本人間工学会東海支部ホームページ】

<http://www.ergonomics.jp/local-branch/tokai/>

当日お問い合わせ(大会本部): 090-9338-9388

特別講演：「テレビ・メディアと報道—東日本大震災・映像ドキュメント—」

梶山女学園大学文化情報学部教授 梶窪優二氏

13：00～14：00

プロフィール



梶山女学園大学 文化情報学部 教授（メディア情報学科 所属）。専門は映像ジャーナリズム、テレビ制作、メディア教育。東北大学 大学院情報科学研究科 博士前期課程 修了。 (株)仙台放送に入社して、記者、ディレクター、石巻支局長、報道デスク、ニュース編集長、プロデューサー、放送部長などを務める。2007年4月より梶山女学園大学・教員となる。東日本大震災・映像記録のほかに、東山動植物園や名古屋市科学館、名古屋港水族館等と共同で映像コンテンツを制作する地域連携プロジェクトに取り組んでいる。日本マス・コミュニケーション学会、日本教育メディア学会に所属。

若手人材支援企画：「一架け橋企画もセカンドステージへー “キャリアデザインいつやるの？ 今でしょ！”」

10：40～12：00

コーディネーター：白井克佳，垣鏑 直，神田幸治，榎原 毅

毎年恒例の企業との架け橋企画も今年はグレードアップ！ テーマは、「一架け橋企画もセカンドステージへー “キャリアデザインいつやるの？ 今でしょ！”」と題し、人間工学を学ぶ院生・学生にとって様々な進路やキャリアビジョンがあるということを伝えるために、参加者よりちょっと先輩の方々にご自身のキャリアを紹介して頂きます。将来の進路として、就職以外にも大学院へ進学，研究職，教育職など多様な選択が広がっていること，社会に出てから研鑽することの大切さなどを同う貴重な機会になると思います。将来の進路について考えている学生・院生，また今後のキャリアアップを考えている若手社会人の方々など，多数の皆様のお越しをお待ちしています。

【話題提供者】

1. 松河剛司さん（愛知工業大学情報学部 講師）

2005年名古屋市立大学芸術工学部卒，2010年同大学大学院芸術工学研究科デザイン情報領域博士後期課程修了。同年，愛知工業大学情報科学部情報科学科助教を経て現職。

2. 高原美和さん（愛知淑徳大学人間情報学部 講師）

2007年大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。同大学大学院人間科学研究科特任研究員，東京工業大学大学院総合理工学研究科産学官連携研究員，(株)豊田中央研究所 客員研究員を経て現職。

3. 羽深太郎さん（日産自動車デザイン本部パーシブドクオリティ部 アシスタントマネージャー）

2002年日産自動車株式会社に入社。車両評価実験部で品質工学・信頼性工学を用いた評価・分析業務に従事。'07年にデザイン本部に異動し、「感性品質（お客様が見て・使って・触って感じる質感）」の評価・先行開発などの業務に従事。現在に至る。

4. 内藤章江さん（お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター特任助教）

2003年共立女子大学大学院家政学研究科（博士後期課程）修了，梶山女学園大学 生活科学部 生活環境デザイン学科助手を経て2009年より現職。

【参加申込み方法】

参加を希望される方は，JES東海支部ホームページ（<http://www.ergonomics.jp/local-branch/tokai/>）より，「参加申込み」画面にて東海支部大会の参加申込みを行う際，「若手人材支援企画への参加」の欄をチェックしてください。申込みなしで当日参加も可能ですが，人数把握のため事前参加申込みにご協力ください。